

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習 I	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	石岡和志・脇山園恵	開講期	2年前期	単位数	1

### 【授業の主題】

ソーシャルワークとは何か（定義）、現代社会におけるその役割と理念・価値基盤を理解する。人と環境の接点・相互作用に関して、何に注目し、何を変革していくかについて社会福祉援助における「視点」を理解できるようにする。ミクロ・メゾ・マクロの焦点、個人・家族・組織・地域・社会の相互関係を理解できるようにする。

ソーシャルワーカーは、利用者をより深く理解することに加えて、援助者として関わる自分自身についての理解も求められる。本演習では、ソーシャルワーカーとして自己覚知を行うと共に、基本的なコミュニケーション技術や面接技術を体験的に学ぶ。

### 【到達目標】

- 1) 自己覚知と利用者理解について習得することができる。
- 2) 相談援助実習を行う際に必要となる基本的な面接技術を身につけることができる。
- 3) 記録方法の概要と具体的な方法を習得することができる。

### 【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 ソーシャルワーク実践 ～ソーシャルワーカーの使命と役割の理解～
- 第 3回 専門職としての価値・倫理と自己覚知
- 第 4回 自分の生活史を作成し生活史把握の意義について学ぶ
- 第 5回 自己理解、自己覚知
- 第 6回 他者を理解するということ
- 第 7回 基本的なコミュニケーション技術の習得①
- 第 8回 基本的なコミュニケーション技術の習得②
- 第 9回 これまでのまとめ、ロールプレイのねらいと方法
- 第 10回 面接技法についての理解① ～観察・傾聴～
- 第 11回 面接技法についての理解② ～面接の環境づくり～
- 第 12回 面接技法についての理解③ ～面接等で得た情報の統合化～
- 第 13回 記録技法
- 第 14回 情報整理法
- 第 15回 演習のまとめ～学習成果の振り返り～

### 【授業実施方法】

基本的には演習形式で行う

### 【授業準備】

演習内容を踏まえ復習を中心に行うこと

### 【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

### 【教科書等】

日本社会福祉士養成校協会「社会福祉士相談援助演習」中央法規出版

### 【参考文献】

その都度紹介する

### 【成績評価方法】

平常点 10%、レポート 30%、ロールプレイ等 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

### 【学生へのメッセージ】

演習による科目のため必ず出席すること。また、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。